



平成30年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年11月12日

上場会社名 株式会社sMedio

上場取引所 東

コード番号 3913 URL <http://www.smedio.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 岩本 定則

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 北埜 弘剛

TEL 03-6262-8660

四半期報告書提出予定日 平成30年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第3四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第3四半期	779	6.9	45		41		41	
29年12月期第3四半期	837	19.2	1	99.2	1	97.7	34	

(注) 包括利益 30年12月期第3四半期 47百万円 (%) 29年12月期第3四半期 37百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第3四半期	21.87	
29年12月期第3四半期	17.11	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年12月期第3四半期	1,616	1,247	77.2	654.93
29年12月期	1,766	1,294	73.3	679.64

(参考) 自己資本 30年12月期第3四半期 1,247百万円 29年12月期 1,294百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期		0.00		0.00	0.00
30年12月期		0.00			
30年12月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	990	6.2	113		110		105		55.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 連結業績予想の1株当たり当期純利益は、平成30年9月末時点の発行済株式数2,029,521株から自己株式数125,092株を控除した、1,904,429株を用いて算定しております。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積もり実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年12月期3Q	2,029,521 株	29年12月期	2,029,521 株
-----------	-------------	---------	-------------

期末自己株式数

30年12月期3Q	125,092 株	29年12月期	125,092 株
-----------	-----------	---------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

30年12月期3Q	1,904,429 株	29年12月期3Q	2,009,062 株
-----------	-------------	-----------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

① 売上高の分析

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、国内の人手不足を背景とする雇用環境の改善を背景に、緩やかな回復が続いております。

我が国経済の先行きに目を転じますと、米国は輸入関税の引き上げに加え、その対象範囲の拡大を行い、本格的な貿易戦争に発展すると不安感が強まり、地政学的リスクなどと相まって、不透明感が強まりつつある状況であります。

このような環境の中、当社が属する情報通信業界は、IoT（モノのインターネット化）、AI（人工知能）、ビッグデータ、VR（仮想現実）、AR（拡張現実）、通信速度向上、通信規格の高度化といった、今後の社会一般を変貌させる力を秘めた技術革新が、今までにないスピードで進んでおります。当社は、ITの浸透が人々の生活をあらゆる面で、より良い方向に変化させるデジタルトランスフォーメーションの実現に、IoTが重要な技術であるとの認識に立ち、引き続き、事業を展開してまいります。

当社の事業は、技術の特徴で大きく分けると、無線接続技術や著作権認証技術を活かしたワイヤレスコネクティビティ事業と脆弱性診断やデータバックアップといった技術を活かしたセキュリティ&プライバシー事業に分けられます。

（ワイヤレスコネクティビティ事業）・・・当社が主体

Blu-ray再生ソフトウェアや高解像度(4K/8K)画像処理技術を基盤とした事業になります。当事業は、ロイヤリティ収入を主体としているため、Blu-rayなどを再生するデジタル家電機器（TV、Blu-rayレコーダー、PCなど）の出荷台数に影響を受けます。国内のデジタル家電機器の出荷台数は底を打った感が出てきましたが、依然、低調であることには変わりなく、厳しい事業環境が続いております。

当事業においては、画像解析AIエンジンを軸とした製品群(sMedio AI Technologies)も取り扱っており、建設業や流通業等での商用化を見据えた実証実験を複数実施しております。

（セキュリティ&プライバシー事業）・・・タオソフトウェア(株)および(株)情報スペースが主体

Androidのセキュリティ脆弱性診断やBLE(Bluetooth Low Energy)を使った位置情報ソリューション、データ移行・バックアップアプリ（JSバックアップ）に関する開発収入を中心とした事業であります。開発収入からロイヤリティ収入への転換および月額課金サービス収入の育成を図っております。

このような状況において、グループ全体としては、PCなどのデバイス出荷台数が低調であったことや前年同期に子会社タオソフトウェアで大きな受託開発案件があった反動減等で、売上高は779百万円（前年同四半期比6.9%減）となりました。

形態別売上高は、下表のとおりであります。

（単位：百万円、百万円未満切捨て）

形態別売上高	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減	増減率(%)
ロイヤリティ収入	585	542	△43	△7.4
受託開発収入	201	178	△22	△11.0
保守サービス・サポート収入	50	57	7	14.9
合計	837	779	△58	△6.9

② 販売費及び一般管理費、営業利益の分析

当第3四半期連結累計期間における販売費及び一般管理費は418百万円（前年同四半期比3.8%減）、営業損失は45百万円（前年同四半期は、営業利益1百万円）となりました。

営業損失を計上した主な要因は、売上高が落ち込んだことに、初期開発で開発工数が想定以上にかかった案件が複数発生し、開発原価がかさんだことが重なり、売上総利益が大きく落ち込んだことによります。

③ 営業外損益、経常利益の分析

当第3四半期連結累計期間における営業外損益は為替差損益が前年同四半期の差損から差益となった影響で、営業外収益は5百万円（前年同四半期比179.9%増）となり、営業外費用は1百万円（同57.6%減）となり、結果、経常利益は41百万円（前年同四半期は、1百万円となりました）。

④ 親会社株主に帰属する四半期純利益の分析

当第3四半期連結累計期間における親会社株主に帰属する四半期純損失は41百万円（前年同四半期より損失額が7百万円拡大）となりました。

(単位：百万円、百万円未満切捨て)

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間	増減
売上高	837	779	△58
営業利益又は営業損失(△)	1	△45	△47
経常利益又は経常損失(△)	1	△41	△42
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△34	△41	△7

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産・負債及び純資産の状況とそれらの要因は次のとおりです。

① 流動資産

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は1,443百万円であり、前連結会計年度末に比べ113百万円減少しました。これは、売上の計上に伴い原材料（前払いしていた支払ロイヤリティ）が105百万円減少したことなどによるものであります。

② 固定資産

当第3四半期連結会計期間末の固定資産は172百万円であり、前連結会計年度末に比べ36百万円減少しました。これは、償却によりのれんおよびソフトウェアが24百万円および12百万円減少したことなどによるものであります。

③ 流動負債

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は326百万円であり、前連結会計年度末に比べ7百万円減少しました。これは、主に米国の子会社での預り金を返金したことなどでその他流動負債が2百万円減少したことなどによります。

④ 固定負債

当第3四半期連結会計期間末の固定負債は42百万円であり、前連結会計年度末に比べ95百万円減少しました。これは、主に長期借入金が1年内返済予定の長期借入金に振り替えられ、93百万円減少したことなどによります。

⑤ 純資産

当第3四半期連結会計期間末の純資産は1,247百万円であり、前連結会計年度末に比べ47百万円減少しました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純損失41百万円による減少と為替換算調整勘定が5百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年2月13日に公表いたしました平成30年12月期の通期連結業績予想を下記の通り、修正しております。

(単位：百万円、百万円未満切捨て)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
前回発表予想(A)	1,134	18	14	6
今回修正予想(B)	990	△113	△110	△105
増減額(B)-(A)	△143	△132	△124	△112
増減率(%)	△12.6	△725.4	△874.7	△1,621.2

詳細につきましては、本日（平成30年11月12日）公表いたしました「平成30年12月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,218,904	1,149,548
売掛金	57,681	70,278
たな卸資産	245,221	172,750
その他	36,858	50,939
貸倒引当金	△2,036	△146
流動資産合計	1,556,629	1,443,370
固定資産		
有形固定資産	23,774	22,614
無形固定資産		
のれん	117,205	93,107
その他	41,108	28,677
無形固定資産合計	158,313	121,784
投資その他の資産	27,678	28,478
固定資産合計	209,766	172,877
資産合計	1,766,395	1,616,247

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	28,722	31,599
1年内返済予定の長期借入金	125,408	124,889
未払法人税等	27,847	10,076
前受収益	24,173	25,972
賞与引当金	2,291	10,600
その他	125,251	123,229
流動負債合計	333,693	326,366
固定負債		
長期借入金	124,374	30,837
資産除去債務	5,725	3,435
繰延税金負債	8,269	8,349
固定負債合計	138,369	42,621
負債合計	472,062	368,987
純資産の部		
株主資本		
資本金	507,082	507,082
資本剰余金	667,688	667,688
利益剰余金	329,484	287,834
自己株式	△227,199	△227,199
株主資本合計	1,277,056	1,235,406
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△48	-
為替換算調整勘定	17,325	11,853
その他の包括利益累計額合計	17,276	11,853
純資産合計	1,294,333	1,247,259
負債純資産合計	1,766,395	1,616,247

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
売上高	837,458	779,397
売上原価	400,581	406,343
売上総利益	436,876	373,053
販売費及び一般管理費	434,975	418,604
営業利益又は営業損失(△)	1,900	△45,550
営業外収益		
受取利息	377	246
助成金収入	1,052	1,735
為替差益	-	3,044
その他	383	48
営業外収益合計	1,812	5,074
営業外費用		
支払利息	1,632	983
為替差損	503	-
リース解約損	266	-
その他	-	36
営業外費用合計	2,403	1,019
経常利益又は経常損失(△)	1,310	△41,496
特別損失		
固定資産除却損	-	76
社葬費用	4,892	-
特別損失合計	4,892	76
税金等調整前四半期純損失(△)	△3,582	△41,572
法人税等	30,784	77
四半期純損失(△)	△34,367	△41,649
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△34,367	△41,649

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
四半期純損失(△)	△34,367	△41,649
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△818	48
為替換算調整勘定	△1,872	△5,471
その他の包括利益合計	△2,690	△5,423
四半期包括利益	△37,057	△47,073
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△37,057	△47,073

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、ソフトウェア事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。